

会員各位

東京コンクリート診断士会

横浜見学会（関東大震災 100 周年記念行事として）の開催案内

いつも大変お世話になっています。現場見学会として横浜見学会を企画しました。今年（2023 年）は、オールド横浜は死んだと云われる『関東大震災』から 100 年の節目の年です。関東南部はこの 100 年間で、幸いにも自然災害である大規模地震が発生していません。しかしながら今後 30 年以内にマグニチュード 7.0 以上の首都直下地震の発生確率が 70%以上と予測されています。

この機会に大正 12 年の関東大震災時の被災者である米国人（プール氏：米国貿易商社ードッドウエル商会日本総支配人）の逃避行を辿ると共に、現在も残る被災跡地を巡り、その被災跡から今後の防災・減災計画の一助となるものを得ること、またコンクリート診断士として地盤への見識（液状化、斜面崩壊等）を高めることを目的とします。

1. 開催日時と集合場所

11 月 2 日（木）開催。雨天決行。

集合場所は、13：00、『みなとみらい線・日本大通り駅改札口』。

見学時間は 3 時間（13：00～16：00）。現地解散（みなとみらい線・元町中華街駅付近）。

希望者は中華街で懇親会を開催。

2. 参加者数と公募方法

参加者数：30 名（事前応募で先着順、締切は 10 月 17 日（火））。

応募方法はメール、または FAX で TCD 事務局へ（連絡先：Email ted@candr.jp、Fax 03-6380-2404）。

費用は、見学会 2,000/名、懇親会約 4,000/名予定。支払い方法は以下の口座に振込。

口座名 東京コンクリート診断士会

三菱UFJ銀行 国分寺駅前支店 普通預金 口座番号 3639022

3. 見学会スケジュール

① みなとみらい線・日本大通り駅改札口前で集合

② 日本大通り駅改札口前で参加者にスケジュールと行動ルールの説明後出発。（すべて徒歩移動）

③ プール氏の職場（現在 JAL シティホテル）前を出発。プール氏の逃避行ルートを基本的に辿る。

- ④ 加賀町警察署⇒中華街西通り⇒西の橋⇒元町商店街⇒前田橋⇒百段階崩落場所(霧笛楼脇)⇒ジェラルド氏の水屋敷跡⇒高田坂⇒百段公園⇒フェリス女学院脇を通過して山手通りへ、ベリックホール他⇒外国人住居跡(基礎が存置)⇒山手234番館⇒岩崎博物館(ゲーテ劇場の遺構、1980年建設)⇒外人墓地(地すべり跡)⇒港の見える丘公園⇒公園下の崖部⇒山下公園⇒ホテルニューグランド前⇒現地解散。(下図参照：プール氏の逃避行)
- ⑤ ホテルニューグランド前の山下公園で現地解散。みなとみらい線元町中華街駅へ案内。(希望者は中華街で懇親会)

4. 見学会主要見学地と関東大震災での被災状況と現況

- ① 中華街の埋立地盤液状化と砂州上の山下町等崩壊。(液状化は今後も発生の可能性)
- ② 元町百段階崩落跡地の上下の被災前と現況(このような斜面が崩壊した)
- ③ ジェラルド氏水屋敷の地下貯水槽。(地下水が豊富であった谷部は崩壊し易い)
- ④ 山手通りに現在有る洋館(大部分は震災後に建設や移設、八手状の丘陵地の脆弱性)
- ⑤ 旧居留地の外国人住宅の基礎(山手80号館跡・震災の状況が確認できる)。
- ⑥ 外人墓地と関東地震慰霊碑。(地震で地滑り発生)
- ⑦ 港の見える丘公園(崖部の高さが実感できる、この崖をプール氏と家族は降りた)
- ⑧ 港の見える丘公園の崖部を脇から見る。(高低差30m、こんなに崖は高いのか)
- ⑨ 山下公園(震災後のガレキ処理のため、海岸にガレキを埋めその上を緑化し、公園)。
- ⑩ ホテルニューグランドは震災前の海岸沿いのホテル。震災で全壊してその後再建。



